

財務ハイライト

(単位:百万円)

	2022年12月期 上期	2023年12月期 上期	2022年12月期 通期	2023年12月期 通期予想
売上収益	6,520	7,390	13,833	15,300
営業損失	1,398	1,111	2,897	2,200
親会社の所有者に帰属する 四半期/当期損失	1,109	844	2,431	1,900
資産合計	33,535	35,728		
負債合計	9,873	12,638		
資本合計	23,662	23,090		

経営成績・財政状態について

当社グループは企業理念である「感謝と喜び」の心を根本として、お客様の事業継続や事業創造に貢献するための活動を続けると共に、中期経営計画(2022-2028)で掲げた2つの重点施策である「クラウドの浸透」と「サービスの拡張」に注力しております。

そのような中、『cシリーズ』への主力商材の転換は、当社グループの売上収益を安定させます。更に、『cシリーズ』は柔軟なメニュー体系での利用が可能となったことで、新規の契約獲得が好調となり、お客様総数が増加しました。コスト面においては、サービスの開発投資や提供基盤の強化等、今後の事業成長につなげるための先行費用が増加した一方で、セールスプロモーション活動の効率化を図りました。

これらの結果、2023年12月期上期の経営成績は、前年同期に比べ売上収益は増加し、損失も改善いたしました。

1株当たり配当金

(単位:円)

	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期予想
中間配当	4.00	—	—
期末配当(予想)	4.70	1.00	1.00
年間配当(予想)	8.70	1.00	1.00
連結配当性向	35.2%	—	—

配当の基本方針

当社グループは、株主様に対する利益還元を経営上の重要課題として位置づけております。

企業価値向上のための事業展開や財務健全性の維持に必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針とし、連結配当性向35%以上を目処としております。

2023年12月期 配当について

2023年12月期は親会社の所有者に帰属する当期損失の計画であるものの、内部留保の状況等を鑑み、配当の実施が可能であると判断し、1株当たり年間1.00円と予想。